

環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」

プラスチック対策の取り組み

2020年7月28日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
経営推進本部
サステナビリティ推進部オフィサー
尾崎 一夫

セブン&アイグループの概要

※2019年2月末現在

●国内外 約160社のグループ

コンビニエンスストア

(株)セブン-イレブン・ジャパン
米国：7-Eleven, Inc.
中国：セブン-イレブン
(北京、成都、天津)



スーパーストア

(株)イトーヨーカ堂
(株)ヨークベニマル
(株)ライフフーズ
(株)ヨーク
(株)シェルガーデン
(株)セブンファーム
中国イトーヨーカ堂
(北京・成都)

金融サービス

(株)セブン銀行
(株)セブン・カードサービス
(株)セブンCSカードサービス



日本国内店舗数

約**22,500**店

総来店客数

約**2,500**万人/日



百貨店

(株)そごう・西武

専門店

(株)赤ちゃん本舗
(株)バーニーズ・ジャパン
(株)オッシュマンズ・ジャパン
(株)セブン&アイ・フードシステムズ
(株)ロフト
(株)ニッセン
(株)フランフラン
タワーレコード (株)



IT/サービス

(株)セブン&アイ・ネットメディア
(株)セブンドリーム・ドットコム
(株)セブンカルチャーネットワーク
(株)セブン&アイ出版
(株)セブン・ミールサービス
ぴあ (株)

GREEN CHALLENGE 2050の中のプラスチック対策

目指す姿	2030年の目標	2050年の目指す姿
循環経済 社会	オリジナル商品で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）50%使用。	オリジナル商品で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）100%使用。
	<p>プラスチック製レジ袋の使用量ゼロ。</p> <p>使用するレジ袋の素材は、紙等の持続可能な天然素材にすることを目指す。</p>	—

セブン&アイグループのプラスチック使用量

容り法のプラスチック使用量(オリジナル商品のみ)

PETボトル:1.9万t プラスチック製容器・包装:12.9万トン

※ご参考=セブンプレミアム 売上1.4兆円 4,050アイテム

PETボトル	使用量(t)
食料品	269
清涼飲料	18,806
酒類	616
合計	19,691

プラスチック製容器・包装	使用量(t)
食料品	82,226
清涼飲料等(キャップ含)	2,536
酒類	143
石鹼・塗料	71
医薬品	0
化粧品等	107
小売	38,019
上記以外	1,400
プラスチック包装	4,792
合計	129,295

バイオマスプラスチックの利用

バイオマスを一歩使用したPET、LLDPE、HSOPPのフィルムを伝ったPB商品は156SKU

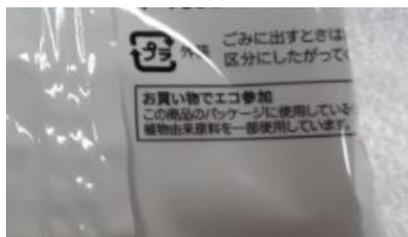
■和惣菜温総菜シリーズ



■ペットフードシリーズ



■一般パン



お客様へのPR
 → 「お買い物でエコ参加
 植物由来原料を一部使用しています」

リサイクルPET素材の利用

グループで店頭回収したペットボトルを一部使用したリサイクルPETフィルムを伝ったPB商品は205SKU

■ 和惣菜副菜シリーズ



■ 鍋つゆシリーズ



■ 住居詰め替えパウチシリーズ



■ バタピー・柿ピー



プラスチックから紙素材への変更

■プラスチック容器を紙化。年間で約800tのプラスチック使用料を削減



側面に「GREEN CHALLENGE 2050」のロゴを掲載

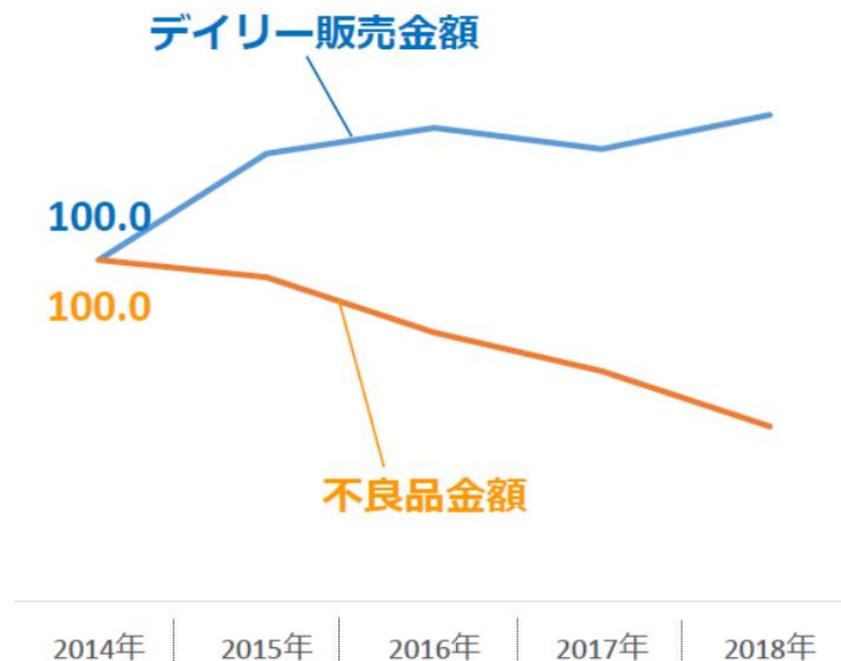


■大袋菓子の外袋を紙パッケージに変更。



プラスチック対策の今後の方向性

◆販売期間延長による売上改善と廃棄率削減



- ・プラスチックはバリア性が高く、食品廃棄削減に効果が高い。
- ・プラスチックの使い捨ては止めていくが、必要な部分には今後も使用していく。
- ・必要な部分にはバイオマスやリサイクル素材、生分解性の比率は高めていく。
- ・課題はリサイクルできる仕組み(回収とイノベーション)